

2023年2月期 第3四半期決算説明資料

2023年1月13日

株式会社ヨシムラ・フード・ホールディングス（証券コード：2884）

1. 2023年2月期 3Q決算ハイライト
2. 2023年2月期 3Q決算詳細
3. トピックス
4. Appendix

1. 2023年2月期 3Q決算ハイライト

2023年2月期 3Q決算サマリ

概要

売上高

- ✓ 売上高は**255.2億円**となり、前年同期比**117.0%**となった。
- ✓ 国内事業は、新規M&A（十二堂及び小田喜商店）により増収。
- ✓ 海外事業は、新型コロナの影響が減少し、ホテル等向けの売上が回復したことにより増収。

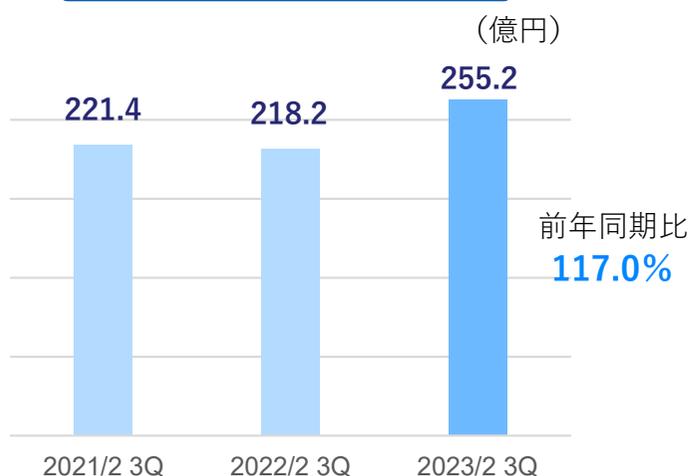
営業利益

- ✓ 営業利益は**5.9億円**となり、前年同期比**110.7%**となった。
- ✓ 国内事業は、原材料価格等の高騰の影響で一部企業が苦戦したものの、十二堂及び小田喜商店のグループ化により増益。海外事業は、売上の回復により増益。
- ✓ 当期はM&A取得関連費用および検討費用として124百万円（前年同期－百万円）を計上。

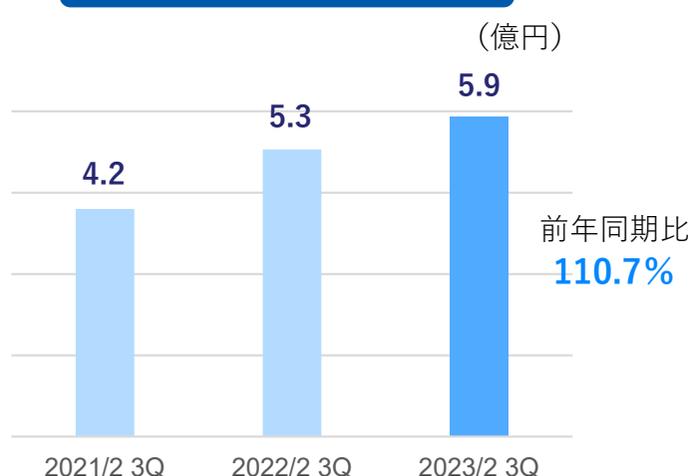
経常利益

- ✓ 経常利益は**12.5億円**となり、前年同期比**165.3%**となった。
- ✓ 外国為替相場の変動の影響により為替差益が377百万円増加。

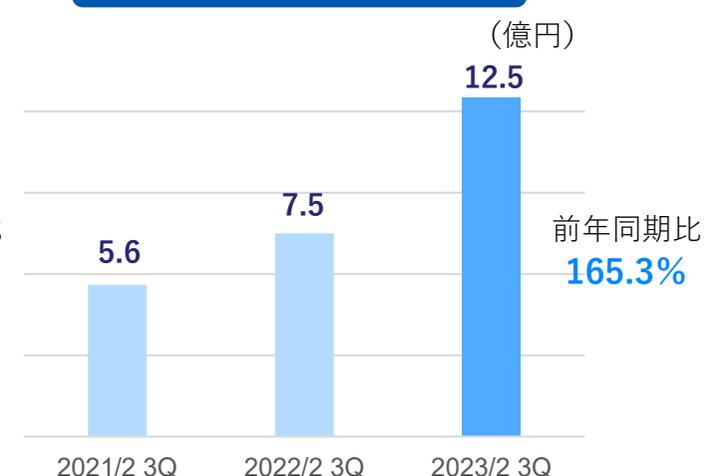
売上高



営業利益



経常利益

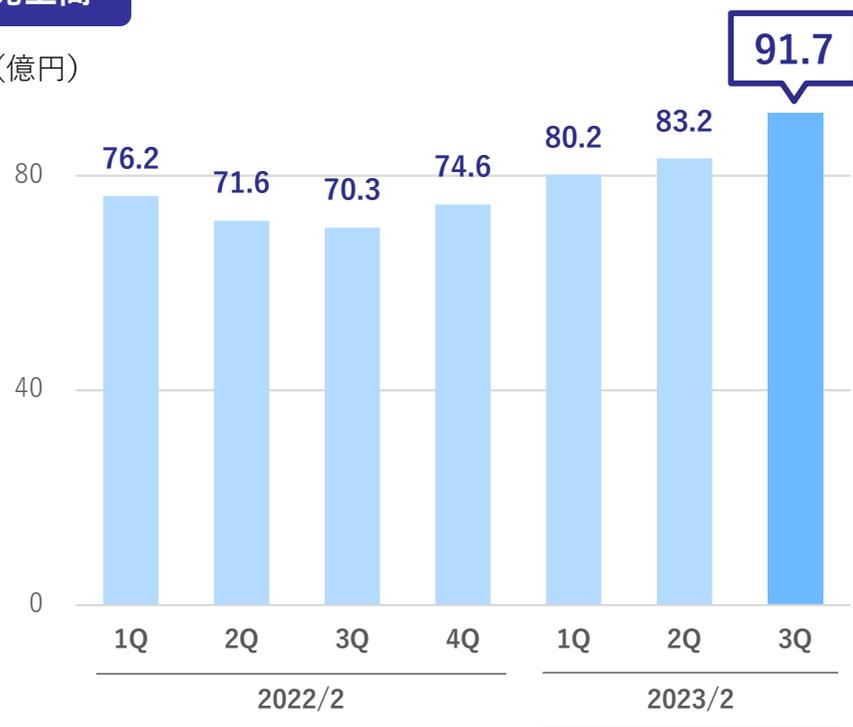


売上高・営業利益の四半期推移

2023年2月期3Qは、売上高及び営業利益が前年同期比で増加。

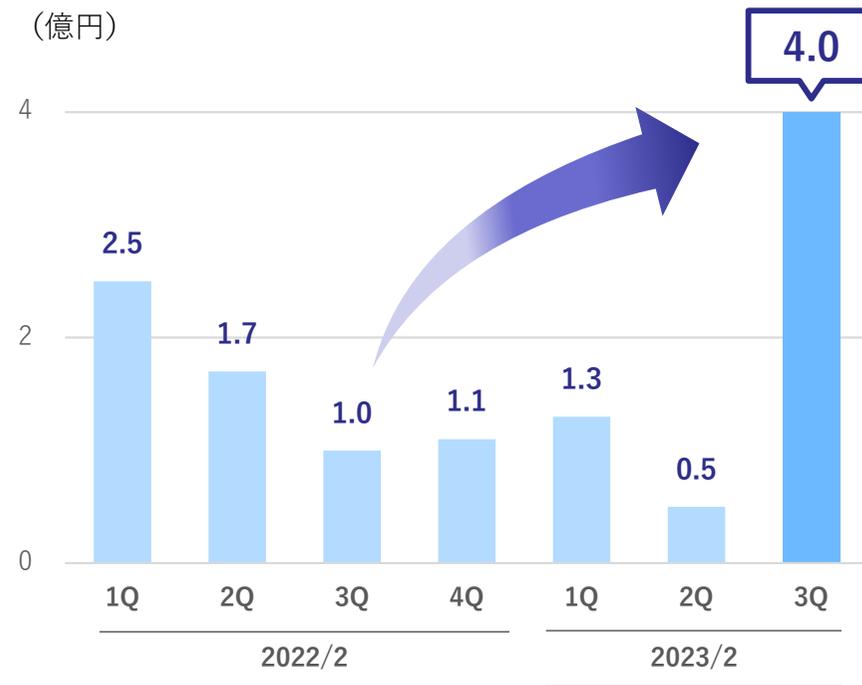
売上高

(億円)



営業利益

(億円)



- 2023年2月期1Qから売上は回復傾向。
- 特に2023年2月期3Qは、国内及び海外ともに新型コロナウイルスからの回復により売上が増加するとともに、新規M&Aにより売上が増加。

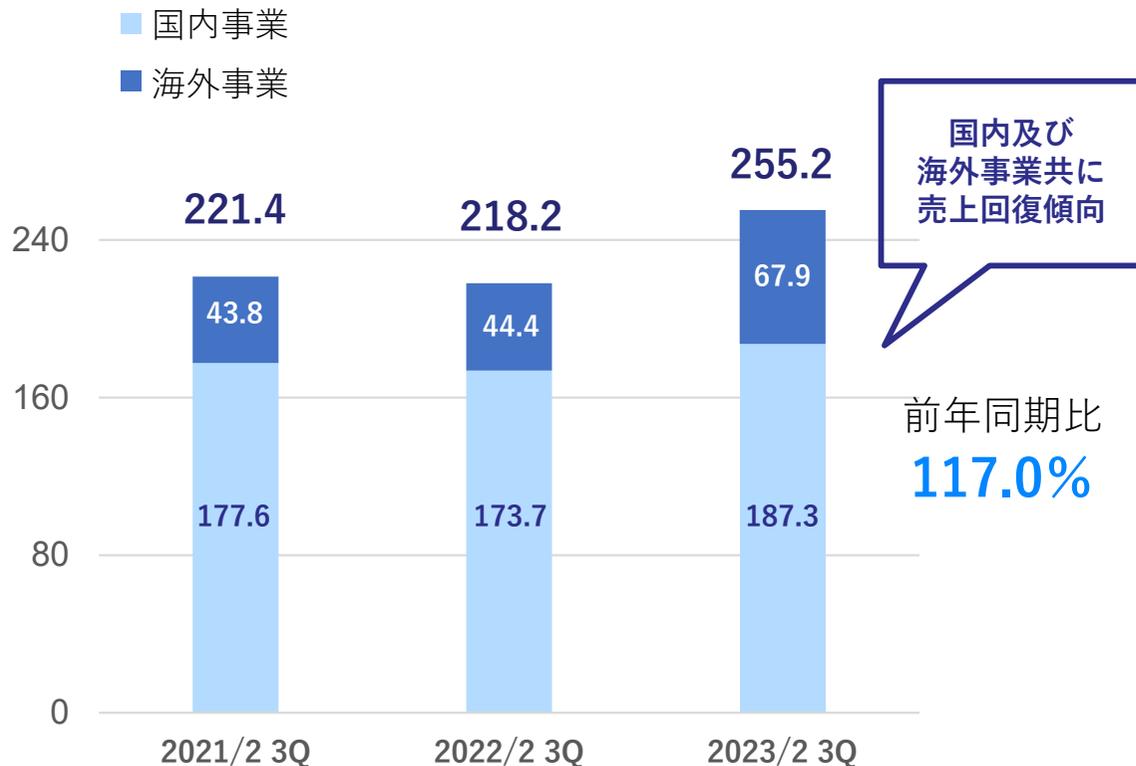
- 2023年2月期1Q以降、原材料価格高騰等の影響は継続するものの、3Qは、新型コロナウイルスの影響の減少によるホテル等向けの売上の回復、十二堂及び小田喜商店（繁忙期）のグループ化により増益。

売上高の推移

売上高は**255.2億円**となり、前年同期比**117.0%**となった。

売上高推移

(単位：億円)



概要

国内

- 国内製造事業は、価格改定等の影響により一部のスーパー量販店向けの売上が減少したものの、十二堂及び小田喜商店のグループ化により増収。
- 国内販売事業は、新型コロナからの回復により産業給食事業者向けの売上が増加、生協等宅配関係の売上は引き続き好調に推移。

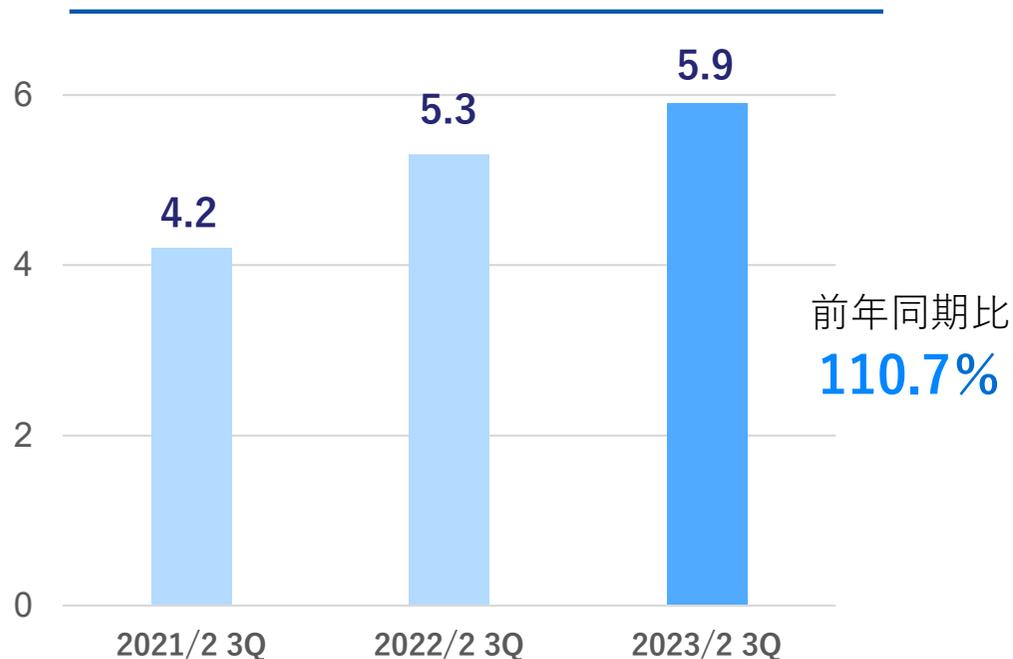
海外

- 海外製造事業及び海外販売事業は、新型コロナの規制緩和に伴いシンガポールでは海外渡航者が増加し、ホテル、飲食店への売上が回復。マレーシアにおいても経済の回復に伴い飲食店、ホテル向けの売上が回復。

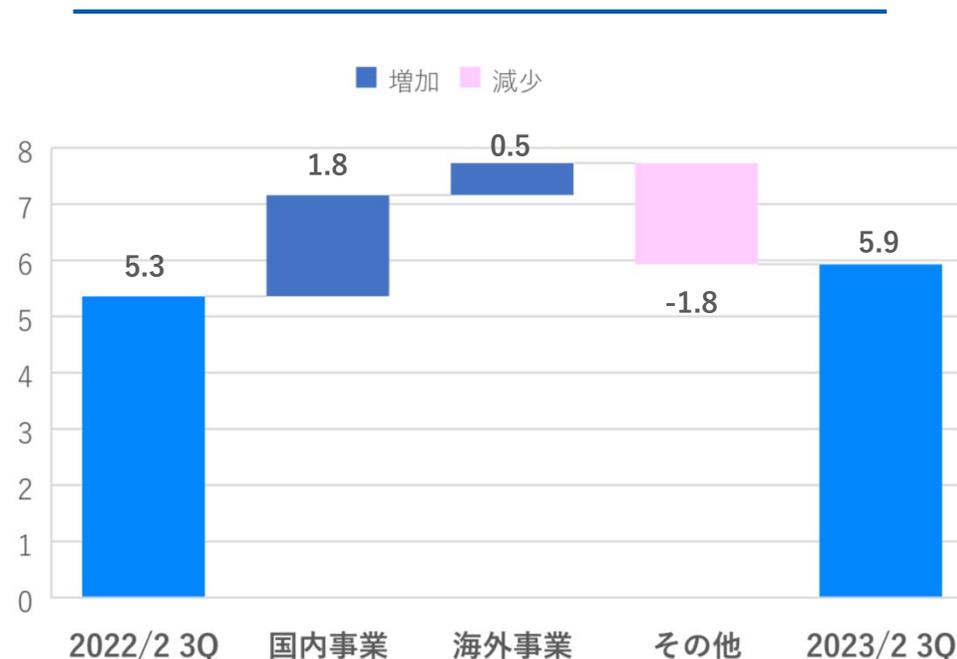
営業利益の推移

営業利益は**5.9億円**となり、前年同期比**110.7%**となった。

営業利益推移 (単位：億円)



営業利益増減分析 (単位：億円)



- 国内事業は、一部企業が原材料価格の高騰により苦戦したものの、生産効率化等の成果や今期グループ化した十二堂及び小田喜商店が貢献し増益。
- 海外事業は、原材料価格や物流費等の高騰の影響はあるものの、売上の回復による増益。

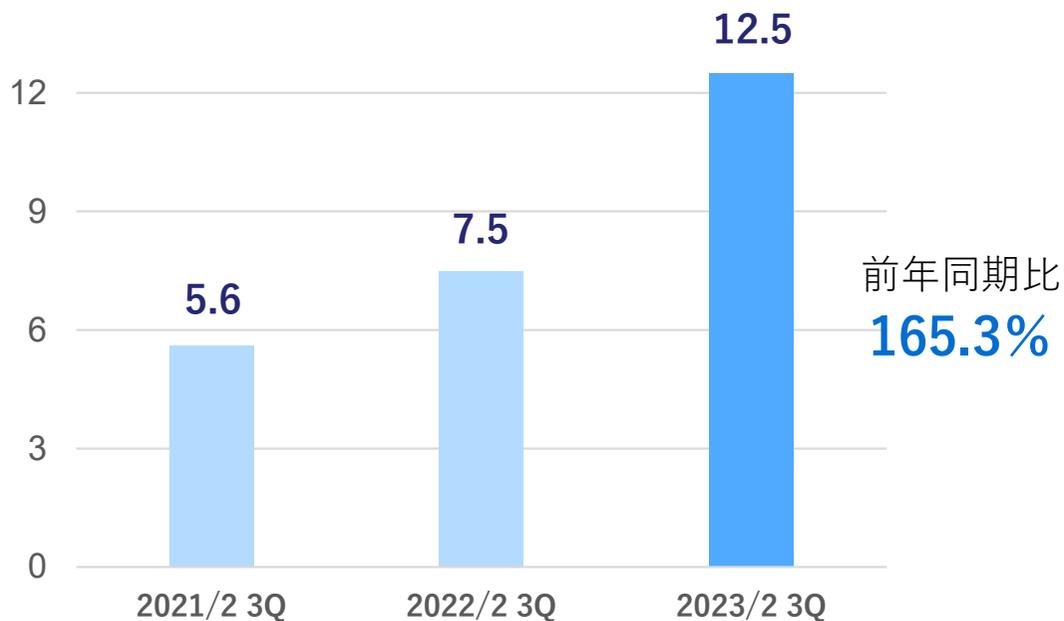
- 「その他」は、主にM&A取得費用及びのれん償却費
- M&A取得関連費用等が前年同期比124百万円増加したことで、「その他」費用が増加したものの、国内及び海外事業の業績改善により増益。

経常利益の推移

経常利益は**12.5億円**となり、前年同期比**165.3%**となった。

経常利益推移

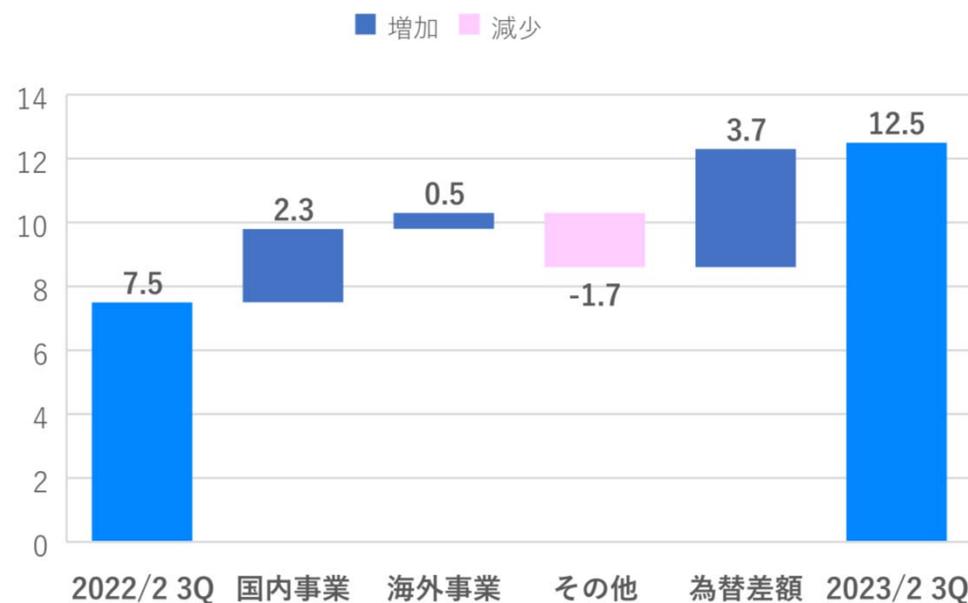
(単位：億円)



- 営業利益が増加したことに加え、外国為替相場の変動の影響により為替差益が377百万円増加。

経常利益増減分析

(単位：億円)



<為替差額明細>

2022/2 3Q +134M

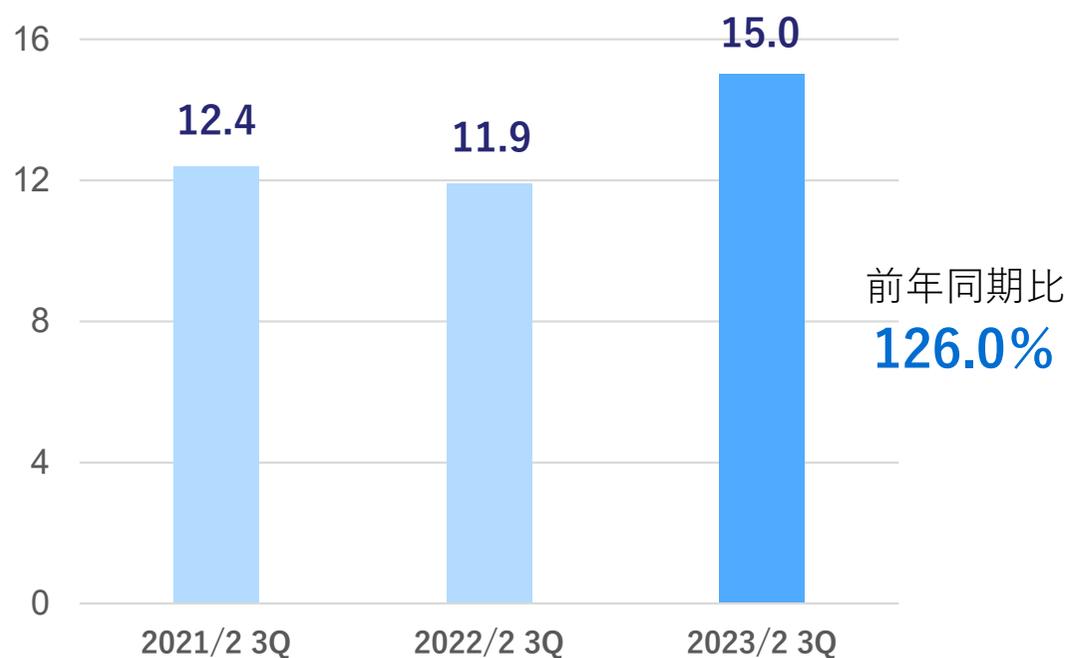
2023/2 3Q +511M

増減額 377M

EBITDAの推移

EBITDAは**15.0億円**となり、前年同期比**126.0%**となった。

EBITDA推移 (単位：億円)



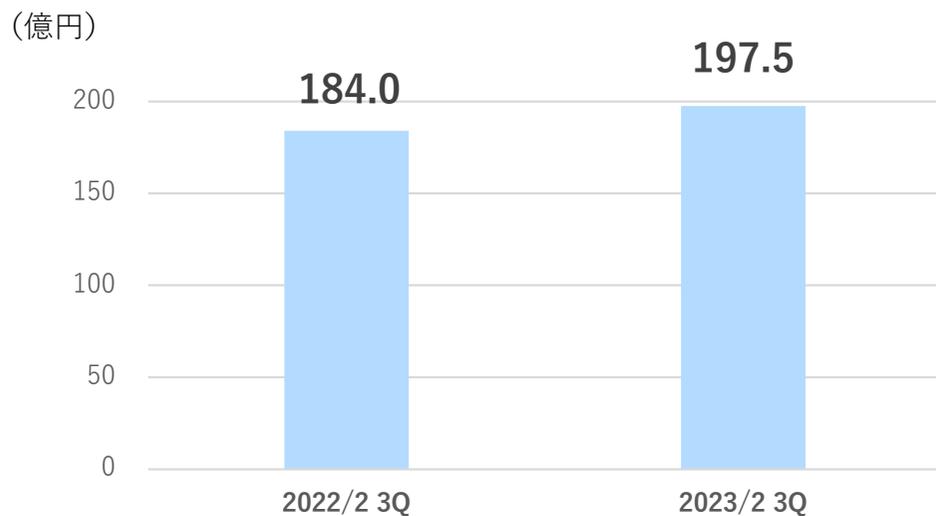
(注) EBITDAは、営業利益に償却費（減価償却、のれん）、コロナ関連補助金収入およびM&Aにかかる取得費用を加算して算出

概要

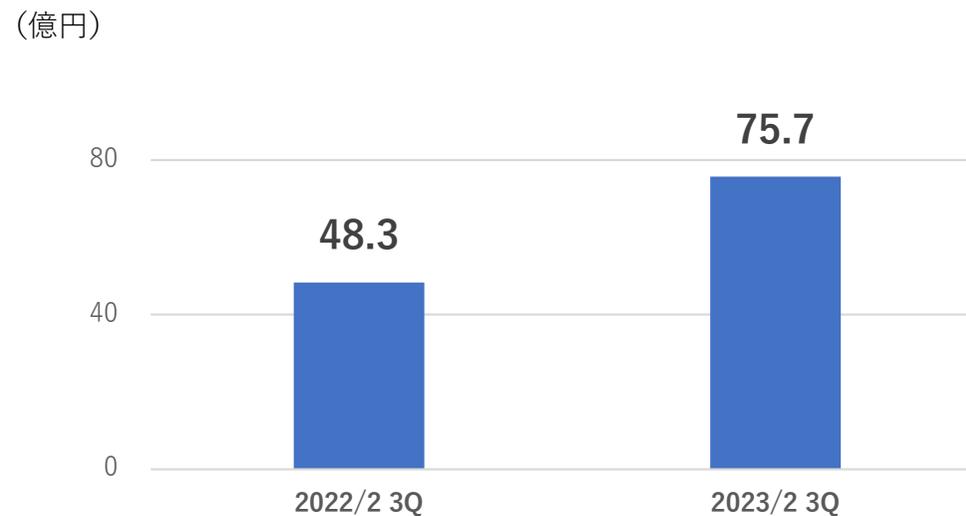
- EBITDAは、営業利益が増益となったことで、前年同期比は増加。

国内・海外別実績

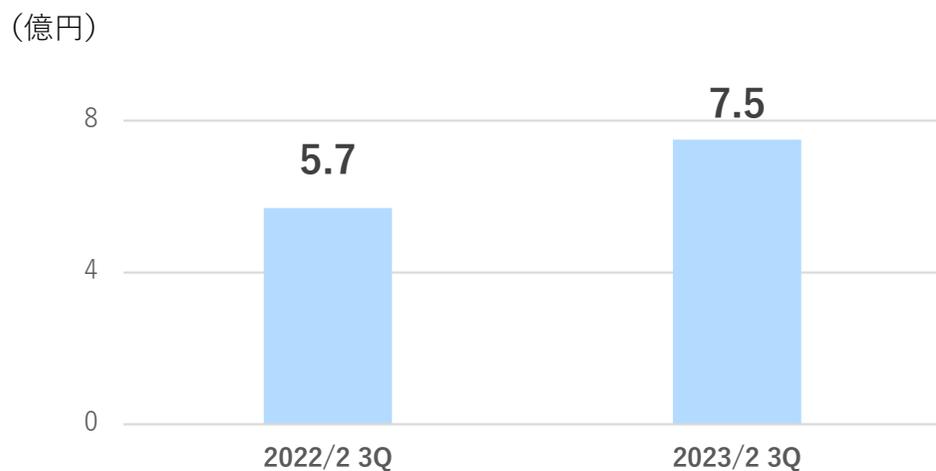
国内売上高



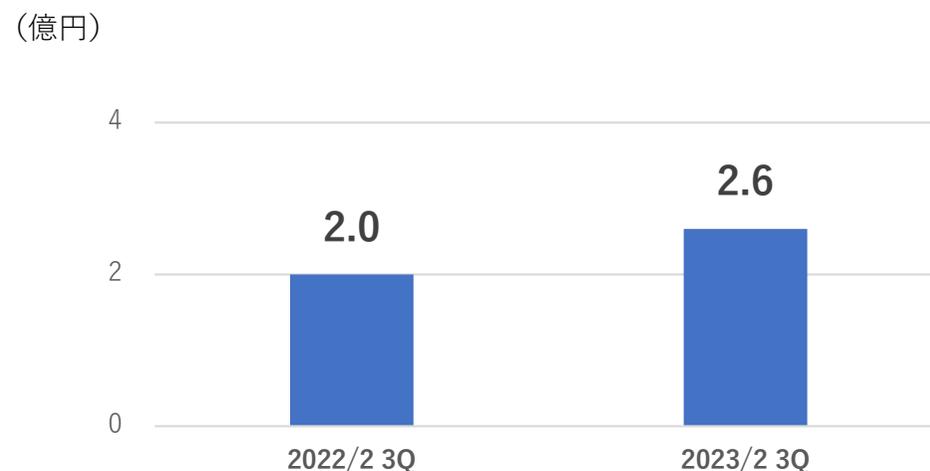
海外売上高



国内営業利益



海外営業利益



(注) 売上高は、セグメント間の取引が含まれています。営業利益は、のれん償却額等を含めていません。

2. 2023年2月期 3Q決算詳細

損益計算書

前年同期比は、**売上高117.0%**、**営業利益110.7%**、**経常利益165.3%**、**当期純利益152.8%**、**EBITDA126.0%**となる。

	2022年2月期 3Q		2023年2月期 3Q		前年 同期比	(単位：百万円)
	構成比		構成比			
売上高	21,823	100.0%	25,526	100.0%	117.0%	【売上高】 ✓ 国内事業は、新規M&A（十二堂及び小田喜商店）により増収。海外事業は、新型コロナウイルスの影響が減少したことにより増収。
売上総利益	4,772	21.9%	5,196	20.4%	108.9%	
販管費	4,236	19.4%	4,602	18.0%	108.6%	【売上総利益】 ✓ 原材料価格高騰等の影響により、国内製造事業の売上総利益率が低下
営業利益	536	2.5%	593	2.3%	110.7%	
経常利益	758	3.5%	1,253	4.9%	165.3%	【経常利益】 ✓ 為替差益が377百万円増加
親会社株主に帰属 する当期純利益	417	1.9%	638	2.5%	152.8%	
EBITDA	1,196	5.5%	1,507	5.9%	126.0%	

(注) EBITDAは、営業利益に償却費（減価償却、のれん）、コロナ関連補助金収入およびM&Aにかかる取得費用を加算して算出

売上高の状況（セグメント別）

国内事業子会社は、一部企業が価格改定等の影響で苦戦したものの、十二堂及び小田喜商店のグループ化により増収。海外事業子会社は新型コロナからの回復により増収。

2022年2月期 3Q 2023年2月期 3Q 前年
同期比 (単位：百万円)

	2022年2月期 3Q	2023年2月期 3Q	前年 同期比	(単位：百万円)
製造事業セグメント	16,253	19,123	117.7%	(製造事業セグメント)
楽陽食品	3,573	3,234	90.5%	✓ 楽陽食品、エスケーフーズは、生産性向上のため商品アイテム数を削減したこと、原材料価格高騰に伴う価格改定を実施したことで減収
NKR	1,383	2,571	185.9%	
エスケーフーズ	2,149	2,017	93.9%	
Pacific Sorby	948	1,997	210.6%	
オーブン	1,805	1,943	107.6%	
純和食品	1,795	1,363	76.0%	✓ Pacific Sorby、NKRは、新型コロナの規制緩和により海外からの渡航者が増加し、ホテル、飲食店向けの売上が回復
JSTT	1,035	1,063	102.7%	
森養魚場	647	879	135.7%	
その他（12社）	3,596	4,755	132.2%	✓ 新たにグループ化した十二堂及び小田喜商店の売上が追加
販売事業セグメント	5,570	6,214	111.6%	(販売事業セグメント)
ヨシムラ・フード	3,372	3,918	116.2%	✓ ヨシムラ・フードは産業給食業者への売上が回復
Sin Hin	1,395	1,692	121.3%	
ジョイ・ダイニング・P	1,056	1,077	101.9%	
その他事業セグメント	-	187	-	✓ Sin Hinは、ホテル、飲食店向けの売上が回復
合 計	21,823	25,526	117.0%	

(注) 個別の業績につきましては、セグメント間の取引が含まれているため、各個別業績の合計とセグメント別の数値は一致いたしません。

貸借対照表

M & Aにより子会社が増加したことで、資産および負債が増加。当期純利益の増加、及び為替相場の変動による為替換算調整勘定等が増加したことで純資産が増加。

	2022年2月期 4Q	2023年2月期 3Q	前期末増減額	(単位：百万円)
流動資産	12,545	17,016	+4,470	
現金及び預金	3,293	4,539	+1,246	【資産合計及び負債合計】 ✓ M&Aにより、小田喜商店、細川食品が新たに連結されたため、資産及び負債が増加
売掛金	4,347	5,615	+1,267	
たな卸資産	4,503	6,087	+1,583	
その他流動資産	401	773	+372	
固定資産	11,197	12,806	+1,608	✓ M&Aに係る資金調達の実施により長期借入金が増加
有形固定資産	5,672	6,504	+831	✓ 売上の回復に伴い売掛金、たな卸資産、買掛金が増加
無形固定資産	4,160	4,785	+625	
投資その他の資産	1,365	1,516	+151	
資産合計	23,743	29,822	+6,078	
流動負債	6,367	9,145	+2,777	【純資産】 ✓ 利益剰余金の増加、為替相場の変動により為替換算調整勘定及び非支配株主持分が増加
買掛金	2,338	3,176	+837	
短期借入金	738	994	+256	
1年以内返済予定長借	1,469	2,373	+903	
その他流動負債	1,821	2,599	+778	
固定負債	9,060	10,638	+1,577	
長期借入金	8,354	9,790	+1,436	
その他固定負債	706	847	+141	
負債合計	15,428	19,783	+4,354	
純資産	8,314	10,038	+1,724	
負債・純資産合計	23,743	29,822	+6,078	

2023年2月期業績見通しに対する外部要因

原材料価格等の高騰に対応するため、国内・海外共に販売先への価格改定を実施。為替相場の変動が大きいいため、引き続き為替差損益が発生する可能性がある。

- 原材料価格高騰、物流費用、エネルギー価格の増加に対応するため価格改定・規格改定を継続して実施

グローバルなサプライチェーンの混乱や天候不順、円安により、食品原材料価格が世界中で高騰している。また、光熱費等の値上げが続き、さらに製造コストが増加傾向にある。

グループ各社では引き続き価格改定（値上げ）及び規格改定（内容量変更）を実施。円安は落ち着きを見せるものの、引き続き為替相場の動向は不透明であり、より一層の製造合理化、コスト削減を実施することで、利益率の維持・向上を図る。

- 為替相場変動に伴う業績の変動

為替相場が大きく変動し、主に当社からシンガポール子会社に対する貸付金等の評価額が変動したことで、当期は大幅な為替差益が発生。直近の為替相場は円高傾向にあるため、今後の為替相場により為替差損が発生する可能性がある。当社はシンガポールにおける事業を今後も継続するため、為替予約等によるヘッジは行わない方針。

3. トピックス

新規M&A（丸太太兵衛小林製麺）

会社名	株式会社丸太太兵衛小林製麺
本社所在地	北海道札幌市手稲区曙二条三丁目1番46
代表者	梶井 保和
設立年月日	1982年
事業内容	麺類の製造及び販売
従業員数	43名（2022年9月末時点）
URL	kobayashiseimen.co.jp



熟成麺

厳選した品質の良い小麦を使用し練り上げた麺は、温度と湿度を徹底管理した空間で、ゆっくりじっくり熟成させる事により麺の透明感が増し、しっかりとした強いコシを実現。



（当社が譲り受けた理由）

- 高度な製麺技術とノウハウにより、こだわりの味と高品質で特徴のある麺を製造可能。また、得意先からの要望を反映した特注麺等の高付加価値商品の製造ができることから、多くの有名なラーメン店で当社の麺が採用されており、今後も安定的な業績が期待できる。
- 工場は衛生管理が徹底されており、生産キャパシティには余裕があることから、営業面の強化等を通じて売上を増加し、業績を向上できる可能性がある。

（特徴）

- 生麺（ラーメン）の製造・販売を行っている。
- 生麺は全て業務用で、主な販売先は北海道内外のラーメン店。味と品質の高さには定評があり、行列の絶えない多くの有名なラーメン店でも採用されている。
- 得意先からの要望により、特注麺の製造にも対応可能な技術力が強み。
- 北海道内の配送は自社で行う等、独自のビジネスモデルを確立している。

新規M&A（林久右衛門商店）

会社名	株式会社林久右衛門商店
本社所在地	福岡県福岡市博多区麦野五丁目23番17
代表者	林 剛一郎（五代目店主）
設立年月日	創業 1885年、設立 1959年
事業内容	削り節等の製造加工及び販売
従業員数	42名（2022年2月末時点）
URL	https://kyuemon.com/



（当社が譲り受けた理由）

- 創業以来百三十余年という年月をかけて作り上げてきた、高付加価値商品を製造する商品開発力とノウハウ、それにより確立された確かなブランド力と確固たる事業基盤により、今後も安定的な業績が期待できる。
- 売上の50%以上を占めている最中お吸物は、フリーズドライ加工したお吸物を使用しており、高度なフリーズドライ技術を持つおむすびころりん本舗で製造を請け負うことや共同での新商品開発により、両社の業績を向上できる可能性がある。

（特徴）

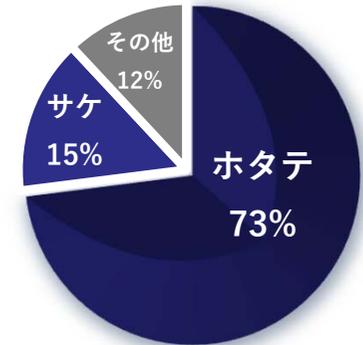
- 鯉節の最高級品とされる枕崎鯉節の本枯鯉節や、天然で上質な厳選素材を調達し、独自の伝統製法で削り節やだしパック、最中お吸物やお茶漬け等の多様な商品づくりを行う。主力商品は、自社で開発した最中お吸物。
- 明治18年創業。日本有数の鯉節生産地である鹿児島県枕崎市で水揚げされた良質な鯉にこだわり、鯉節専門店としてブランドを確立。
- ギフト製品は、関東圏、関西圏の大手百貨店を中心に、全国の百貨店で贈答品として高く評価されている。

新規M&A（マルキチ）

会社名	株式会社マルキチ
本社所在地	北海道網走市北三条東二丁目5番地2
代表者	根田 俊昭
設立年月日	1988年
事業内容	ホタテ、サケ・イクラ、カニ等の製造及び販売
従業員数	143名（2022年10月末時点）
URL	https://marukichi-inc.co.jp/



（商品別売上構成）



（当社が譲り受けた理由）

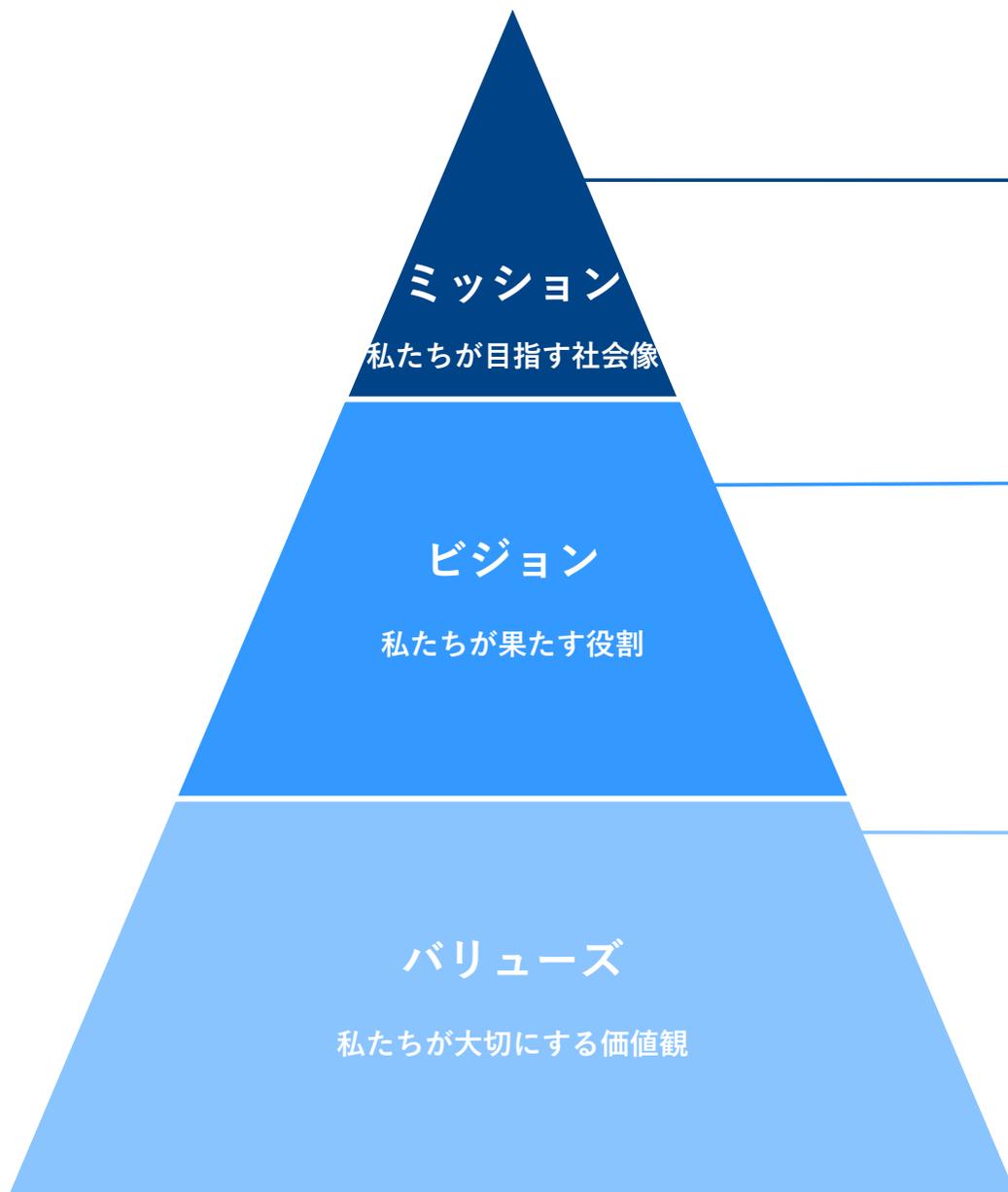
- 海外を中心に需要の拡大が見込まれる北海道オホーツク産ホタテを仕入れる権利、それを加工する技術と生産設備、輸出に必要な品質認証の保有している。
- 国内で水産品加工を行うヤマニ野口水産や雄北水産、シンガポールでホタテを中心とした水産品卸を行うSin Hin Frozen Foodなど、当社グループとのシナジーにより両社の業績を向上できる可能性がある。
- 当社は発行済株式の70%を取得、代表取締役根田氏が引き続き30%を保有し、共同で業績向上に向けて取り組む。

（特徴）

- ホタテを中心に、サケ、イクラ、カニ等の製造加工・販売や鮮魚等冷凍水産品の卸売を行う。メイン商材は輸出向けホタテであり、日本産ホタテの需要が拡大している海外への販売を積極的に行っている。
- オホーツク海にて地撒き方式で育てられた良質なホタテ等、新鮮で高品質な素材を調達し、自社工場で高度な鮮度及び品質管理を行っている。
- 徹底された衛生管理により、取得が難しいとされる米国、EUを含めた世界7カ国に対しHACCP認証を取得している。

4. Appendix

当社の理念体系



ミッション

いつまでも、この“おいしい”を楽しめる社会へ
～消費者が多様な食文化を享受できる豊かさの実現～

- 私たちは、人々が、多種多様な選択肢から自分の嗜好に合わせて自由に選択でき、それが尊重される社会こそ、豊かで幸せであると考えます。
- 私たちは、世界中の消費者が、多種多様で高品質な“おいしい”を自由に選択し、それを楽しめる豊かな社会を目指してまいります。

ビジョン

地域の“おいしい”を守り、育て、世界へ

- 私たちは、「いつまでもこの“おいしい”を楽しめる社会」を実現するため、日本および世界で大切にされてきた“おいしい”を見つけ、守り、育て、世界へと届けてまいります。
- そのために、私たち独自の“おいしい”を見つける目利き力、“おいしい”を守る事業基盤、“おいしい”を育てる支援機能、“おいしい”を世界へと届ける販売網を構築してまいります。
- その結果として、世界の食文化と多様化、地域社会の活性化を推進するグローバルプロデューサーとなります。

バリューズ

「あなた“らしさ”を大切にします」

- 私たちは、私たちに関わる全ての方のあなた“らしさ”を大切にします。
- 私たちは、私たちのグループで働く社員の“個性”、“新しい発想”、“チャレンジ精神”を大切にします。
- 私たちは、私たちのグループ企業が持つ“歴史”、“文化”、“社員”、“取引先”、“地域社会”を大切にします。
- 私たちは、私たちのグループ企業が持つ“強み”を伸ばし、“弱み”を補い合い、共に成長してまいります。
- 私たちは、私たちに関わる全ての方の“らしさ”を大切にしたら結果、多様な選択肢のある豊かな社会づくりに貢献します。

会社概要

社 名 株式会社ヨシムラ・フード・ホールディングス

設 立 2008年3月18日

代 表 者 代表取締役CEO 吉村 元久

本 社 東京都千代田区内幸町2-2-2
富国生命ビル18階

資 本 金 1,107百万円 (2022年2月末現在)

主 要 株 主 吉村元久 37% (株式会社MY保有分含む)、
国分グループ本社(株) 5.0%、日本たばこ産業(株)
4.4% 他

連 結 業 績 売 上 高：29,283百万円 (2022年2月期)

従 業 員 数 連 結：1,167人
単 体： 25人 (ともに、2022年2月末現在)

事 業 内 容 食品関連会社の株式を保有する持ち株会社。
子会社において各種食品の製造・販売。

グ ル ー プ 会 社 主要連結子会社：26社

市 場 東証プライム (2884)

代表取締役CEO 吉村 元久 プロフィール

出 身 地 北海道函館市

最 終 学 歴 1988年3月 一橋大学商学部卒業 金融論専攻
1994年6月 ペンシルバニア大学大学院ウォートン校卒業
ファイナンス専攻 (MBA)

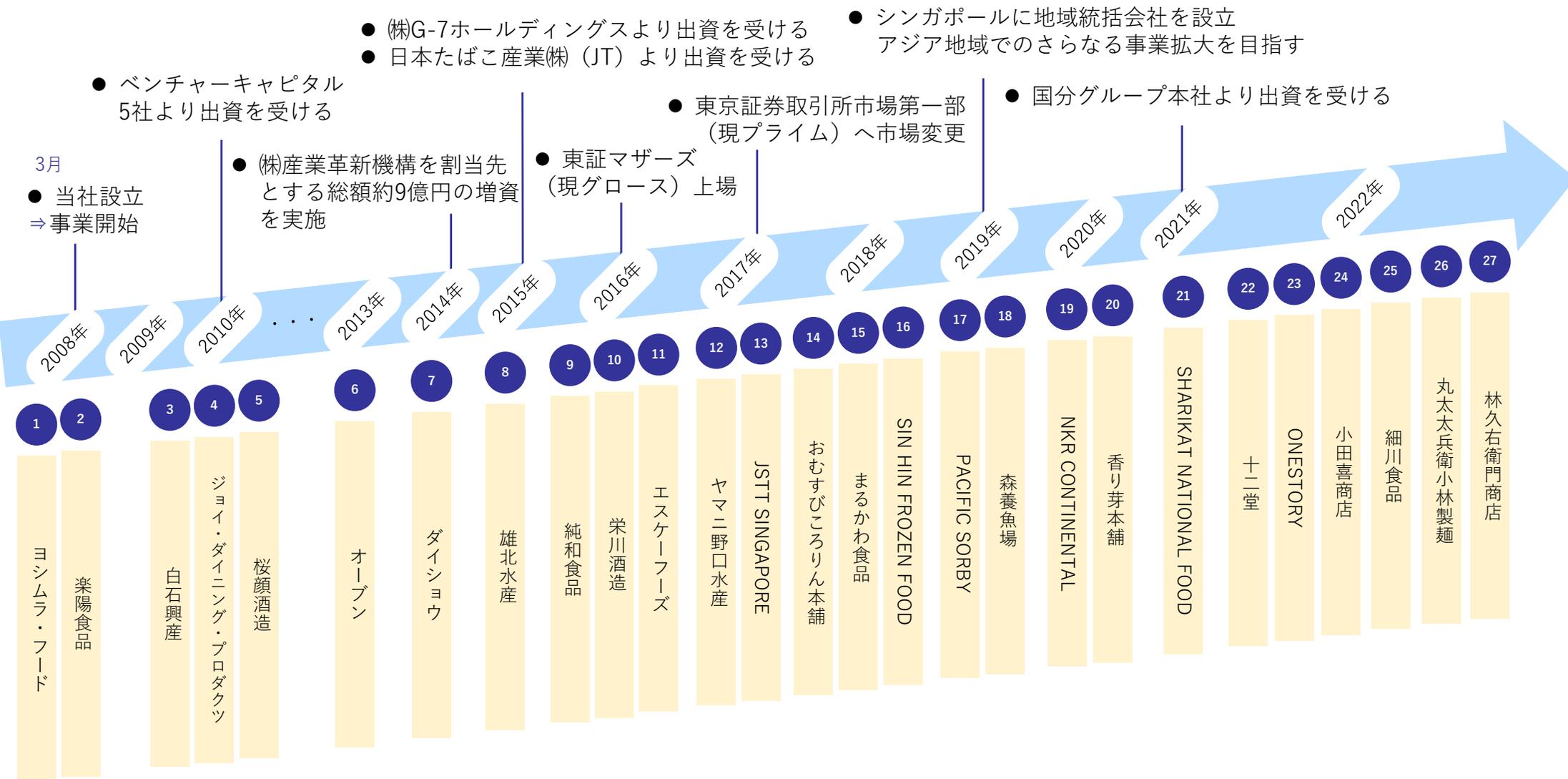
職 歴 1988年4月 大和証券株式会社入社
事業法人部 上場企業の資金調達業務
1996年7月 同社 資産証券部 課長代理
資産の証券化業務

1997年10月 モルガン・スタンレー証券株式会社入社
事業法人部 エグゼクティブディレクター
コーポレートファイナンス業務

2008年3月 当社 代表取締役 (現任)

当社の歩み

当社の歩みは、中小食品企業のM&Aと当社ビジネスモデルへの共感企業からの出資の歴史



中小企業支援プラットフォーム

グループ会社を**機能別に統括**することで、**相互補完・相互成長**を図る仕組み

統括

ヨシムラ・フード・ホールディングス

グループ会社の
有機的な
相互補完関係

中小企業支援
プラット
フォーム

セールス・マーケティング

販売戦略

商品開発

商品戦略・新商品

生産管理

効率化

購買・物流

コストダウン

品質管理

安心安全

経営管理

経営効率化

海外販路

販路拡大・売上増加

会社の壁を越えて
機能ごとに横断的組織
を構築

各機能別の統括責任者
が、グループを横断的
に統括

各社の持つ強みを
グループ全体で共有し
弱みを補い合う

楽陽食品

オーブン

白石興産

桜顔酒造

ダイシヨウ

雄北水産

純和食品

エスケーフーズ

ヤマニ野口水産

JST SINGAPORE

おむすびころりん本舗

まるかわ食品

PACIFIC SORBY

森養魚場

NKR CONTINENTAL

香り芽本舗

十二堂

小田喜商店

細川食品

丸太太兵衛小林製麺

林久右衛門商店

SIN HIN FROZEN FOOD

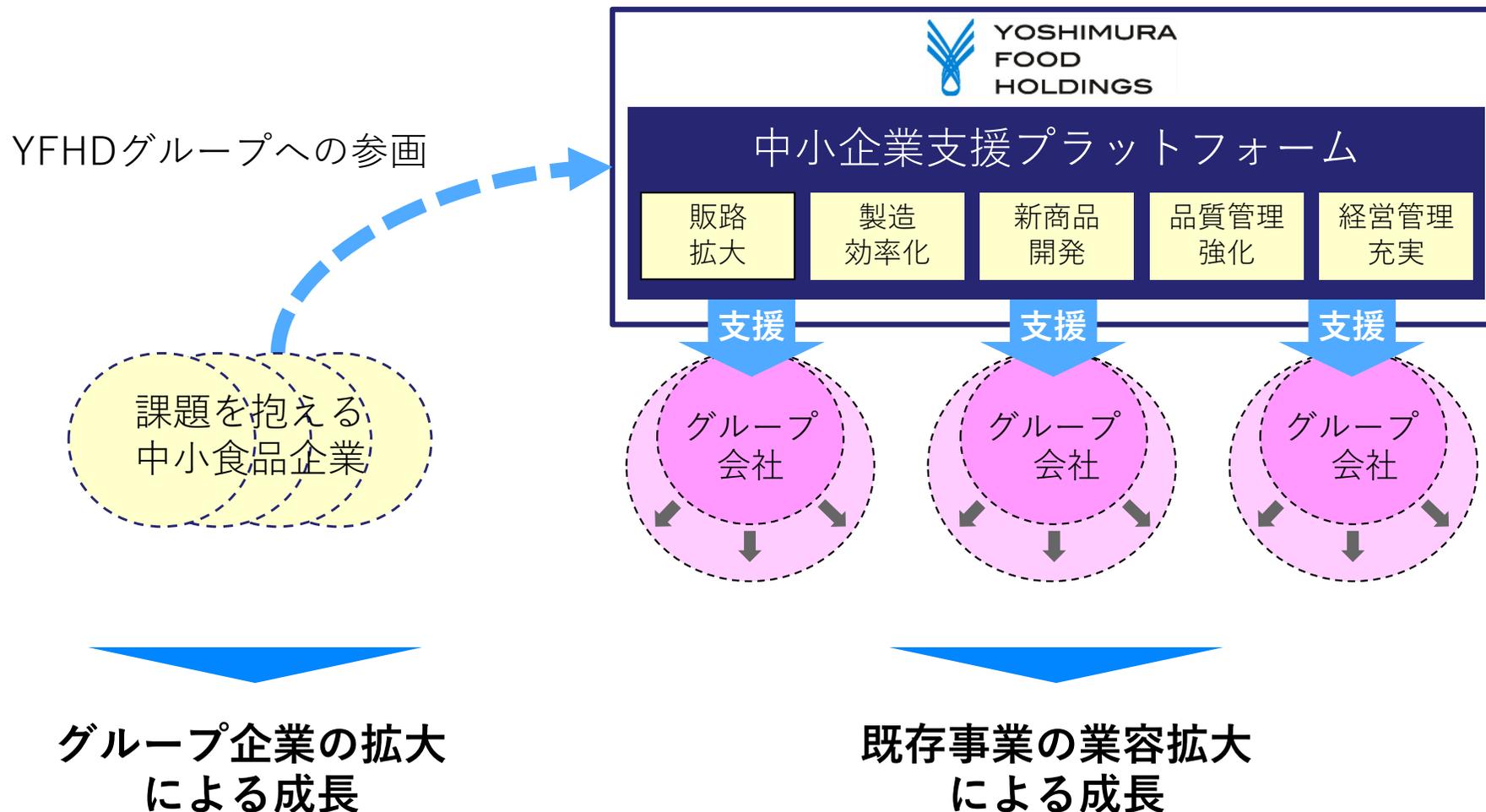
ジョイ・ダイニング
・プロダクツ

ヨシムラ・フード

ONESTORY

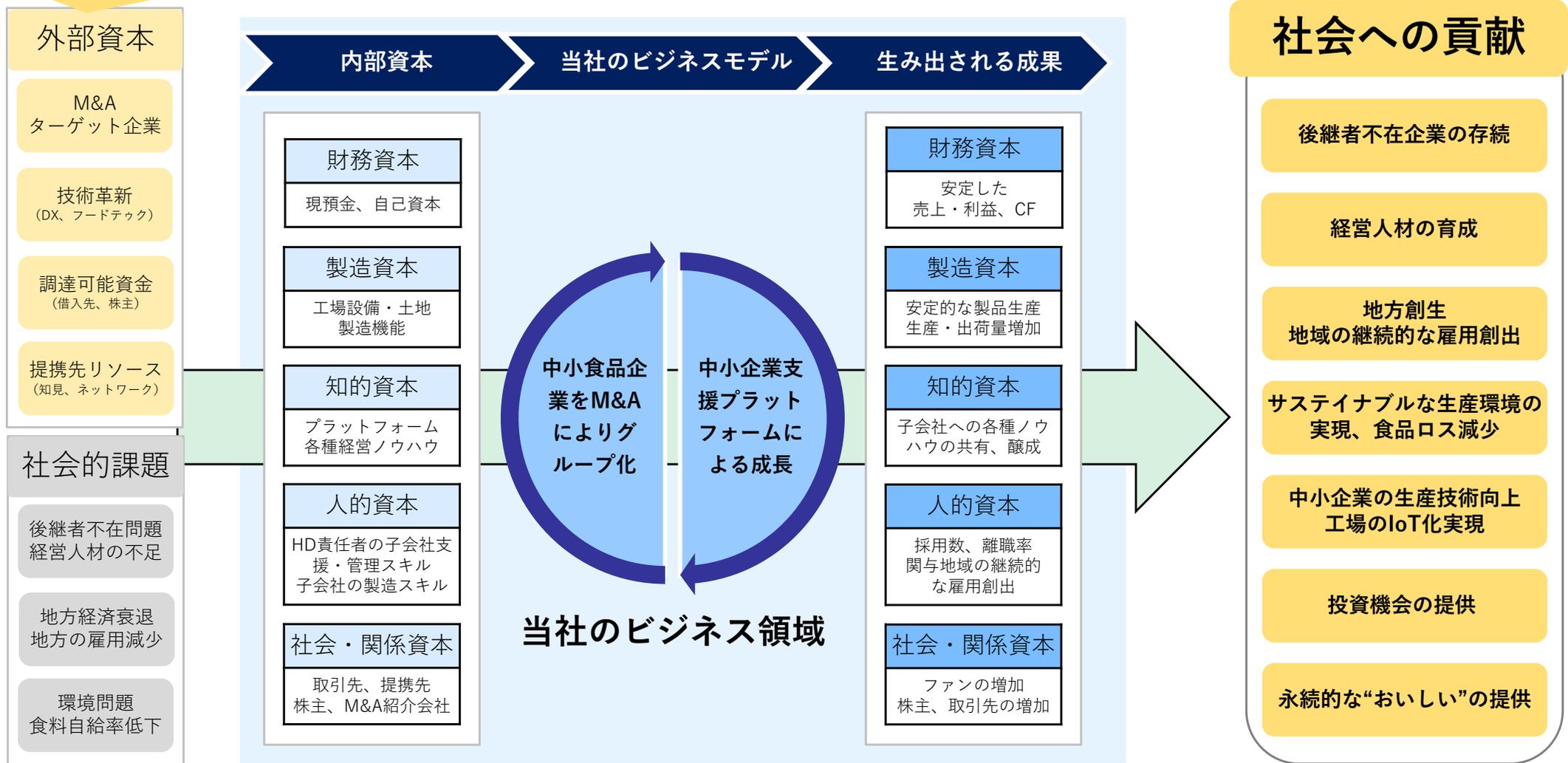
当社のビジネスモデルについて

食品業界におけるユニークなビジネスモデルにより、当社は**2つの成長エンジン**を有する



ESG経営による持続的成長

社会資本を活用してビジネスモデルを回すことで企業価値を創造しステークホルダーから当社グループへの共感を高めると同時に、社会に対しても地域社会への貢献など価値の還元を継続することで持続可能なESG経営を推進いたします。



当社のESGに対する取り組み状況

E nvironment (環境)

■ 環境に配慮した持続可能な製品製造

- 環境変化に依存しない、もしくは、環境に負荷をかけない持続可能な製品製造技術・ノウハウを保有
- 限られた食料資源の有効活用や効率的な生産を実施
 - 森養魚場：気候変動、河川の水質汚染等の影響により天然鮎が減少する中、独自技術にて養殖鮎を安定供給
 - ヤマニ野口水産：端材やサイズ不揃い品を用いた製品開発により食品ロス削減へ貢献
 - おむすびころりん本舗：廃棄予定原材料をフリーズドライ加工し再度製品化することで食品ロス削減へ貢献 ほか

■ 製造工程にて発生した産業廃棄物の再利用

- グループ各社：製造工程にて発生した廃棄物を地域の畜産業者などに提供することによる食品廃棄物の有効活用

■ 消費電力削減

- グループ各社：工場の使用電力削減を目的とした、LED化、高効率ボイラーの採用などを順次実施

S ocial (社会)

■ 地域社会における「食」分野での貢献

- 地域の消費者に高いニーズがあり、こだわりの原材料・レシピによる製品開発を実施
 - ダイショウ：保存料、着色料不使用。なめらかな食感と飽きのこない味
 - オーブン：広島の清浄海域、条件付清浄海域に限定したカキの仕入れ
 - 香り芽本舗：地元中国地方のふりかけ市場にてトップクラスのシェア
- 地域に根差した社会貢献活動の推進
 - おむすびころりん本舗：学生らの支援として昼食の無償支援プロジェクトに参画、地域の特産品を使った製品を提供
 - 森養魚場・純和食品：地元小学生の社会見学の場として養殖場を開放、プレゼントとしてゼリーを提供

■ 地域に強力なファンを抱える企業を引き受けることにより、事業の存続に貢献

- まるかわ食品：継承者不在、地元ファンからの強い要望による事業承継

■ 従業員の多様性

- グループ各社：女性の活躍の場を整備、障害者、外国人の登用など各種取り組みを実施

G overnance (ガバナンス)

■ 経営リソースのサポート

- グループ会社の資金調達や次世代経営者の育成により、グループ会社経営を支援
 - グループ各社：資金調達の支援
 - グループ各社：人材による支援

■ 中小企業支援プラットフォームによる支援

- グループ会社の自律性を担保しつつ状況に合わせた事業計画立案や進捗管理への関与
- 機能別の統括部署を設置し、グループとして事業支援や各種進捗管理などを実施
 - 香り芽本舗：100周年を機としたリブランディングおよび新商品開発支援
 - グループ各社：ホールディングスサイトリニューアルおよび各社情報発信の積極化

当社のESGの具体例

Environment (環境)

■ 環境に配慮した持続可能な製品製造



鮭とばの端材を有効活用した商品化
(ヤマニ野口水産)



廃棄予定原材料をフリーズドライ化
食品ロス削減への貢献
(おむすびころりん本舗)

■ 製造工程にて発生した産業廃棄物の再利用

■ 消費電力削減 他

Social (社会)

■ 地域社会における「食」分野での貢献



学生等へ昼食の無償支援プロジェクト参画
(おむすびころりん本舗)



小学生向け社会見学の場として開放
プレゼントの提供 (森養魚場・純和食品)

■ 中小食品企業の事業存続への貢献 他

Governance (ガバナンス)

■ 中小企業支援プラットフォームによる経営支援



Kaorime

創業100周年を機としたリブランディング支援
(香り芽本舗)



ホールディングスサイトリニューアル
およびグループ各社情報発信の積極化

■ 経営リソースのサポート

- 資金調達の支援
- 人材による支援 他

実践するESG経営の全体像

後継者不在企業を譲り受け、グループ化して活性化する当社の事業は正にESG経営そのものであり、ESG経営をより強化することで持続的な成長を実現いたします。



いつまでも、この“おいしい”を楽しめる社会へ

～消費者が多様な食文化を享受できる豊かさの実現～

E (環境) : グループ会社の取り組み

- ・環境に配慮した持続可能な製品製造 他



S (社会) : グループ全体の取り組み

- ・地域社会における「食」分野での貢献 他



G (ガバナンス) : ホールディングスによるグループ会社の成長支援

- ・中小企業支援プラットフォームによる経営支援
- ・経営リソースのサポート、経営管理機能の提供 他

グループ会社の概要

楽陽食品



シウマイ・餃子

- 国内5か所に工場
- チルドシウマイの生産量は国内トップシェア

白石興産



乾麺

- 創業130年
- 宮城県白石市特産の白石温麺が主力商品

桜顔酒造



日本酒

- 昭和48年岩手県の地場の酒蔵10社で設立
- 県内出荷量2位

オーブン



冷凍かきフライ

- 広島産カキを調達する独自ルートを保有
- 鶏なんこつ唐揚等も製造

ダイショウ



ピーナッツバター

- ピーナッツバターのパイオニアで、主力商品は30年以上続くロングセラー

雄北水産



まぐろ加工品

- 船凍品のまぐろのみを使用した、ねぎとろ、まぐろ切り落としを製造販売

純和食品



ゼリー

- 高い技術力と彩の国HACCPに認定された高い品質管理能力

栄川酒造



日本酒

- 業歴約150年の会津の酒蔵、「榮四郎」は全国新酒鑑評会金賞を受賞

エスケーフーズ



とんかつ

- 「彩の国優良ブランド品」に認証された「むさし野とんかつ」が主力商品

ヤマニ野口水産



水産加工品

- 鮭とばやいくら醤油漬け等北海道の新鮮な原料を使用した水産品を製造

JSTT SINGAPORE



寿司

- シンガポールの工場にて寿司等を製造し、シンガポール大手スーパーへ販売

おむすびころりん本舗



フリーズドライ

- フリーズドライ加工、フリーズドライ製品の製造、非常食の販売

NKR CONTINENTAL



業務用厨房機器販売

- 主にシンガポール及びマレーシアの高級ホテル等へ、業務用厨房機器を設計・製造・施工・販売

香り芽本舗



ふりかけ・スープ

- ソフトタイプわかめふりかけ、わかめスープ等の自社商品からOEMまで、高品質かつ多様な商品を製造

森養魚場



鮎 (アユ)

- 岐阜県内3ヵ所において、高品質な鮎を養殖、販売
- 高度な養殖技術を有し、子持ち鮎の安定生産が可能

グループ会社の概要

製造事業セグメント

まるかわ食品



ぎょうざ

- 静岡において、秘伝のレシピよるぎょうざを製造
- 自社店舗には行列が絶えない人気店

小田喜商店



栗加工品

- 厳選した良質な地元産の「いわまの栗」を使用した高品質な栗製品を製造・販売

林久右衛門商店



だし

- 明治18年創業経節専門店
- 上質な厳選素材にこだわった削り節、だしの製造加工・販売

ヨシムラ・フード



業務用惣菜

- 業務用食材の企画・販売が主、自社で物流を持たず、販売先へ直送するビジネスモデルを構築

ONESTORY



マーケティング・コンテンツ開発等

- 地域に眠る「食」や「文化」等を再発掘・再編集し、プレミアムなコンテンツとしてプロデュース

PACIFIC SORBY



水産加工品

- シンガポールの主要なホテルに対し、自社加工した冷凍ロブスター、カニなどを販売

細川食品



かき揚げ

- かき揚げ、チヂミ、赤飯等の冷凍食品製造
- 野菜加工、野菜原体の販売

十二堂



ふりかけ

- ソフトふりかけ「梅の実ひじき」等を製造、販売
- 全国に多くのファンを持ち根強い人気を誇る

丸太太兵衛小林製麺



生麺（ラーメン）

- 生麺、餃子の皮、たれ等調味料の製造・販売
- 得意先は北海道内外のラーメン店

販売事業セグメント

ジョイ・ダイニング・プロダクツ



宅配等

- 冷凍食品の企画・販売
- 全国の生活協同組合と直接窓口を保有

SIN HIN FROZEN FOOD



水産品卸

- シンガポールの水産品卸
- 主力商品は、エビ、ホタテ、カニ等

SHARIKAT NATIONAL FOOD



不動産賃貸・管理

- シンガポールにおいて食品工場兼食品用低温倉庫を所有し不動産賃貸業を行う

その他

本資料の取り扱いについて

- 本資料に記載されている業績見通し等の将来情報に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではなく不確実性を含んでおります。また、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。
- 本資料には、監査法人による監査を受けていない管理資料が含まれております。